

2014年度

# アンケートの結果報告です



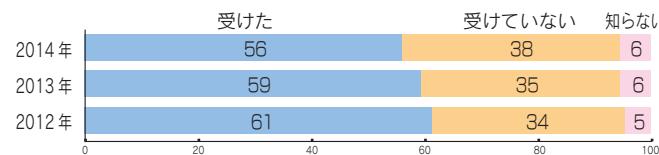
IBM 健保組合は、みなさまやご家族に対する医療費給付のほか、健康づくりをサポートする多岐にわたったプログラムを提供しています。このような健保組合の事業について、広くご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業展開に活かしていくことを目的として、毎年「IBM 健保組合アンケート」調査を実施しています。

今年度も昨年11月に、被保険者のみなさまのなかから6,000名の方を無作為に選んで調査を実施、2,300名ほどの方々からいただいたご回答の集計結果をご報告します。ご協力いただき、ありがとうございました。

## 疾病予防プログラムについて

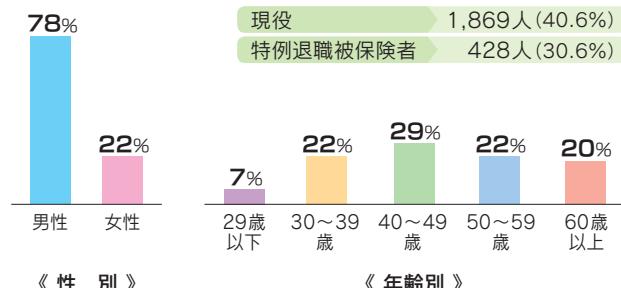
被扶養者の方の健診受診率は伸び悩んでおり、依然として4割ほどの方が未受診となっています。疾病の早期発見のためにも、年1回、必ず受診するようにしましょう。インフルエンザプログラムは2015年度も継続します。

### ●被扶養者は健診を受けましたか？

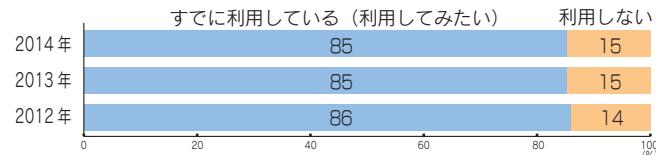


### ご回答いただいたみなさん（集計の内訳）

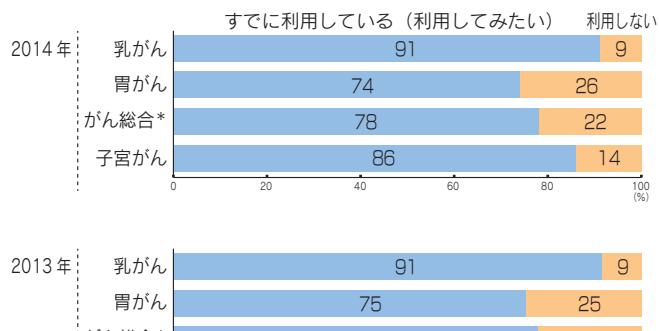
( )は回答率



### ●インフルエンザ予防接種を利用しますか？



### ●補助金対象の各検診プログラムを利用しますか？



\*5歳刻みの該当者のみ対象



## SS21(すこやかサポート21)について

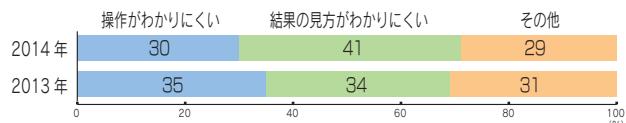
SS21の評価については、8人に1人の方が「不満」と答えしており、その理由を見ると、操作には慣れてきているものの、結果の見方がわかりにくいという声が増えているようです。具体的なコメントの中にもこのようなご意見が散見されるため、来年度からの改善を予定しています。また、コメントの中にはIDとパスワードに関するものも少なくありませんでした。年に1回程度しか利用しないため忘れてしまう、毎年リセットしている、イントラなどと同一にしてほしい、等のご意見を多くいただきました。

しかし、こうした声がある一方、満足度は年々上昇しており、今回の結果でも「満足」と「普通」を合わせ75.7%と前年度の72.6%から3ポイント以上アップ、またホームページ内のSS21関連ページについても確認されている方が増えており、積極的に利用される方が多くなってきたことを示しています。

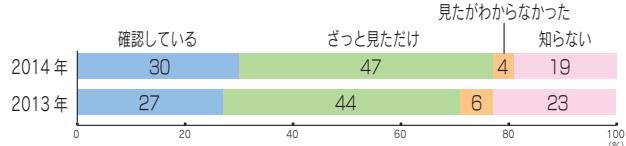
### ●SS21を利用されたご感想はいかがでしょうか。



### ●SS21を利用されたご感想で「不満」と回答された方はその理由をお聞かせください。



### ●お問い合わせいただく内容のほとんどは、初期ID/PWの通知案内に含めたURL（健保ホームページ内：「はじめにお読みください」）に回答が含まれています。この内容をご確認いただいているでしょうか。

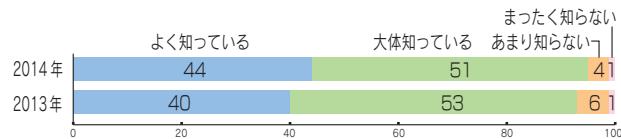




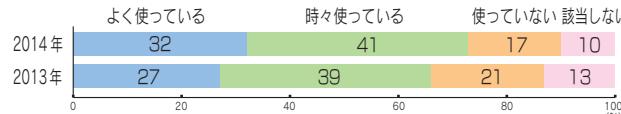
## ジェネリック医薬品(後発医薬品)について

安価でありながら新薬と同様の有効性・安全性が確認されているジェネリック医薬品。ご存じの方は95%にも達し、特に「よく知っている」方が増えてきているようです。また、実際に利用された方も73%と増加しています。国や健保組合などの医療保険者が、ジェネリック医薬品の普及推進に努めてきたことが奏功しているようです。今後もIBM 健保組合では、ジェネリック医薬品を積極的に利用していただくよう呼びかけていきます。

### ● ジェネリック医薬品とはどんな医薬品を示すかご存じですか？



### ● ジェネリック医薬品をご利用になったことがありますか？



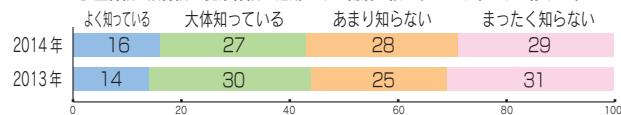
## 整骨院・接骨院(柔道整復師)について

整骨院・接骨院を利用したことのある方は半数に上る一方、健康保険適用の傷病が限られていることをご存じの方は43%と、いずれも前年度とほぼ変わらない結果となっています。健康保険で受けられるのは「急性」または「亜急性」のねんざ、打撲、肉離れなどに限られています。慢性的な肩こり、スポーツによる筋肉痛などは適用外となりますので、これら正しい整骨院・接骨院のかかり方について、今後も周知に努めています。

### ● 整骨院・接骨院(柔道整復師)を利用したことはありますか？



### ● 整骨院・接骨院で健康保険が適用できる傷病は限られていますが、ご存じですか？



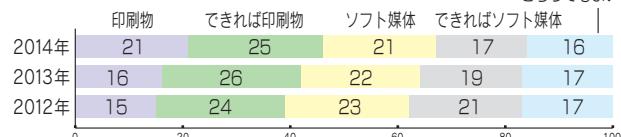
## 情報のご案内方法について

IBM 健保組合の毎年度の予算や決算、各種事業などについては必ずみなさまにお知らせしなければなりませんが、その手段として、現段階では、ホームページだけでは情報提供のあり方として十分とはいえません。

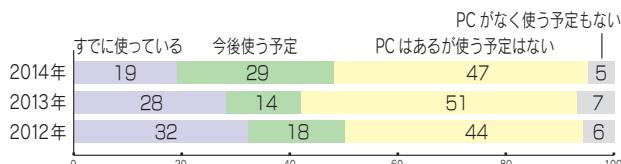
しかし一方では、ご家族でも今後、パソコンを使う予定のある方が約3割と増えていることから、Webでの情報提供の範囲をご家族にも広げていく必要があると考えております。まずは健診結果通知等のWeb化を図っていきます。



### ● 印刷物による開示とWeb等を利用したソフト媒体による開示、どちらを希望しますか？



### ● ご家族は健保ホームページなどへのアクセスにパソコンを使われますか？



## 各種印刷物・健保ホームページについて

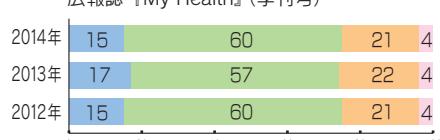
年4回発行の広報誌『My Health』や毎年お届けする『利用者ガイド&保養施設ガイド』等の印刷物は、3/4の方々に役立てていただいている。これらは、IBM 健保組合の事業のほか健康保険制度、健康づくり等に関する情報を、できるだけ多くのみなさまに提供する手段として欠かせない媒体と考えています。

したがって、ホームページをより使いやすくメンテナンスしながらWebでの情報提供を図るとともに、紙冊子での情報提供も、車の両輪として今後も続けていきます。

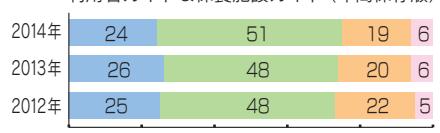
■ 大いに役立っている ■ 役立っている ■ あまり役立っていない ■ 役立っていない

### ● 各種印刷物は役に立っていますか？

広報誌『My Health』(季刊号)



### ● 利用者ガイド&保養施設ガイド(年間保存版)



事業の柱となる項目について、アンケートの集計結果をご報告させていただきました。来年度の保健事業プログラムの運営に活かしてまいります。